

# 京都府総合計画（改定後） について

令和5年8月17日（木）  
京都府総合計画推進会議



京 都 府

# 京都府総合計画（改定後） の概要について

# 京都府総合計画

## 【あたたかい京都づくり】

- 総合計画を令和4年12月に改定し、令和5年4月1日からスタート。
- 計画は、京都府のめざす方向性を明らかにした京都府行政運営の羅針盤となるもので、府民と一体となって行政運営を推進していくもの。
- 「将来構想」「基本計画」「地域振興計画」の3つで構成。
- 改定に当たり、総合計画策定検討委員会（3回）、テーマ別会合（3回）、パブリックコメント（583名・団体：637件）を実施。

### 将来構想

2040年に実現したい京都府の将来像を描いた構想

### 基本計画

#### 8つのビジョンと基盤整備

将来像の実現に向けて、8つのビジョンとそれらを支える基盤整備について記載

#### 8つの広域連携プロジェクト

府域の均衡ある発展に向けて、オール京都のプレーヤーと府全域で連携

#### 分野別基本施策

20の分野別に、現状分析・課題、4年間の対応方向・具体方策、数値目標を体系的に明示

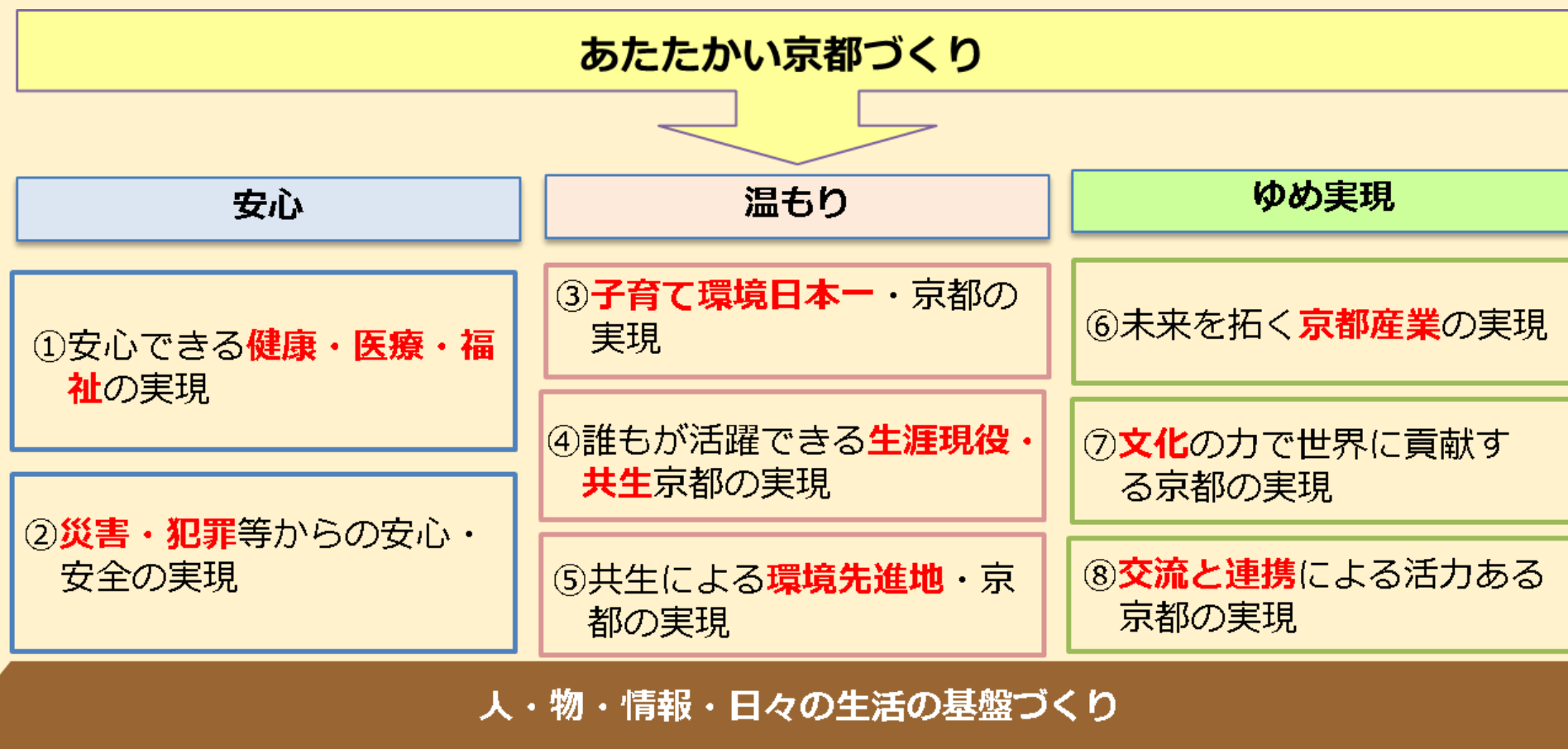
### 地域振興計画

山城・南丹・中丹・丹後の広域振興局ごとに、各地域の資源や特性を生かした地域振興策

# 新京都府総合計画（令和4年12月23日決定）のポイント①

## ～新たな課題に対応する「8つのビジョンと基盤整備」～

感染症への対応や少子化の深刻化、エネルギーや食糧の安定確保、人と人の交流機会の減少など、**新たな課題に対応したビジョンを設定**し、取組を進める。



# 新京都府総合計画（令和4年12月23日決定）のポイント②

## ～絆を繋げる「8つの広域連携プロジェクト」～

人口減少・少子高齢化、人と人の交流機会の減少などにより、各地域だけでは地域の魅力と活力の創造に取り組むことが困難になっている中、**府域の均衡ある発展のため**、府域内の基盤整備の効果を活用しつつ、**市町村単位を越えた広域連携の取組**を進める。



**令和5年度予算に  
おける主要事業  
(8つのビジョン関連)**

# 1. 安心できる健康・医療・福祉

〔主要な方策〕 府立医科大学附属病院における、病院機能の更なる充実を推進

◆ 医科大学施設整備推進費

30百万円

▶ 感染症への即応など医療を取り巻く環境変化に対応した施設整備計画の策定

○ 建物の老朽化への対応と高度急性期・先進医療を担う病院としての機能を強化

〔重点分野〕 新たな感染症に備えた保健・医療・介護体制の構築

◆ 新興感染症対策強化事業費

681百万円

▶ コロナ対応を通じて得た成果・課題を踏まえ、新たな感染症の発生に備えた体制を強化

○ 感染症流行の際に、一般病床を感染症病床に円滑に転用できる施設・設備の整備を促進

○ 感染症に対する基本的な知識や技術を有し、感染症患者への適切なケアができる医療人材の育成を促進

〔主要な方策〕 地域リハビリテーション支援センターの機能強化を推進

◆ 総合リハビリテーション支援拠点整備基本計画策定費

30百万円

▶ 総合リハビリテーション支援拠点の整備に向け、求められる機能・役割を明確化し、既存施設の見直しも含めた施設整備の指針としての基本計画を策定

## 2. 災害・犯罪等からの安心・安全

〔主要な方策〕 オペレーションルーム、リエゾン室等を確保した常設の危機管理センターの設置

◆危機管理センター整備費

384百万円

- ▶ 自然災害や大規模事故等のあらゆる危機事象に  
迅速・的確に対応できる危機管理拠点を整備

〔主要な方策〕 発災からの被害様相の変化予測を踏まえた防災体制の強化や早期復旧方策等の検討を推進

◆きょうと防災力向上事業費

32百万円

- ▶ 大規模災害発生時の対応力と地域防災力の強化

○府内最大の被害が想定される花折断層帯地震をモデルに 被害想定調査や発災から応急復旧までのシナリオを作成

〔主要な方策〕 サイバー空間の安全・安心を確保するための「京都府警察サイバーセンター」の新設

◆サイバーレジリエンス強化対策事業費

33百万円

- ▶ 新たに「京都府警察サイバーセンター」を設置することに伴い、  
深刻化するサイバー空間における脅威への対処能力を強化



# 3. 子育て環境日本一・京都

〔主要な方策〕 府と市町村が一体となった地域の実情に応じた教育施策などへの支援

◆ **子どもの教育のための総合交付金** 300百万円

▶ **府と市町村が一体となって「教育環境日本一」を推進**

○市町村による「地域の実情に応じた特色ある取組」や「他の市町村のモデルとなる取組」を支援するため、府独自の交付金を創設

〔重点分野〕 子育てにやさしい職場づくり

◆ **子育てにやさしい職場づくり事業費** 91百万円

▶ **企業における働きやすい職場づくりの取組を支援**

○「多様な働き方推進事業費補助金」に病児保育や育児休業取得促進のコースを設定

〔主要な方策〕 AIマッチングシステムの導入など、ICTを活用した婚活サービスの展開

◆ **きょうと婚活応援センター強化事業費** 13百万円

▶ **婚活イベントの充実やAIマッチングによる効果的な婚活支援を実施**

スポーツ観戦や文化鑑賞、観光と組み合わせた婚活イベントや、AIマッチングシステム(きょう婚ナビ)を活用し出会いの機会を充実

# 4. 誰もが活躍できる生涯現役・共生の京都

〔主要な方策〕 人材育成の推進、スキルアップ等による業種・職種・地域を超えた人材移動の促進を図る、人への公共投資の推進

## ◆ 誰もが社会で輝く人材確保・育成総合支援事業費 1,062百万円

### ▶ 誰もがいきいきと働ける環境づくりを推進

○リカレント教育の提供を中心にキャリア支援、人材マッチングを行う京都府生涯現役クリエイティブセンターの支援対象を全世代に拡大

〔主要な方策〕 「京都ウィメンズベース」、「マザーズジョブカフェ」、「京都府男女共同参画センター（らら京都）」が連携した、女性のキャリア形成等への支援

## ◆ 女性活躍総合支援事業費 150百万円

### ▶ 3つの女性活躍拠点が連携し、様々な困難・課題を抱える女性をワンストップで支援

○子育てしながら働きたい女性やひとり親家庭の方などのニーズに応じた一体的支援を実施

〔重点分野〕 障害者、高齢者等が、社会のあらゆる場面で主体的に参画できる環境づくり

## ◆ 医療的ケア児支援強化事業費 57百万円

### ▶ 京都府医療的ケア児等支援センターの運営や通学時の安全確保を推進

○当事者団体と連携した家族へのピアサポートや、府立特別支援学校における通学時の福祉タクシー利用に対する助成、看護師配置への支援を実施

# 5. 共生による環境先進地・京都の実現

〔主要な方策〕 企業、研究機関、保全団体、府民等のオール京都でつくる「京都府生物多様性センター（仮称）」の創設

◆ **きょうと生物多様性センター（仮称）事業費** **11百万円**

▶ **生物多様性保全を進めるため、府市協調でセンターを設置**

- センターにコーディネーターを設置し、地域や企業の活動等を支援
- 府内に生息・生育する生物の分布情報や生息地の環境等の情報を収集し、生物多様性情報基盤を拡充

〔主要な方策〕 環境負荷軽減と収益性の向上を両立した農林水産業・食関連産業の育成

◆ **京都耕畜連携システム構築事業費** **15百万円**

▶ **府内における耕畜連携（飼料作物と堆肥の循環）の推進**

- 肥料・飼料の価格高騰等の状況改善の見通しが不透明な中、耕畜連携による持続可能な農業を推進

〔主要な方策〕 脱炭素テクノロジー関連スタートアップ企業と事業会社等の交流、まちづくりへの技術導入等を促進する拠点「ZET-valley」の形成

◆ **ZET-valley推進事業費** **13百万円**

▶ **「脱炭素のまちづくり」のための技術融合の推進と交流拠点整備に向けた検討**

- 脱炭素関連技術を組み合わせた共創プロジェクトを創出・運営するオープンイノベーション拠点整備に向けた検討を実施
- 国内外の脱炭素関係者が一堂に集い、脱炭素技術の社会実装を目的とする国際カンファレンス「ZET-summit」を開催

## 6. 未来を拓く京都産業の実現

〔重点分野〕 地域特性を踏まえた新たな産業創造のためのリーディングゾーンの構築

◆ **産業創造リーディングゾーン推進事業費** **376百万円**

- ▶ **地域の特色を生かした産業創造を行う拠点を府内全域で構築し  
世界的なオープンイノベーションを展開**

〔主要な方策〕 長い歴史が育んだ京都の文化を生かした世界初となるアートとテクノロジーを融合した産業の創出

◆ **アート&テクノロジー・ヴィレッジ推進事業費** **39百万円**

- ▶ **アートとテクノロジーの融合により新たな産業創造を促進**

- グローバル拠点として、海外の企業・大学等との相互交流・連携を促進
- 芸術系大学等との連携により、アート思考の商品・サービスの開発等を促進

〔主要な方策〕 「食」に関する研究機関やスタートアップ企業の集積の促進などにより、  
オープンイノベーションの場を創出

◆ **京都フードテック推進事業費** **194百万円**

- ▶ **京都ならではのフードテックによる府内農林水産業・食品産業の振興**

- 「京都フードテック研究連絡会議」の設置・運営
- 京都フードテックエキスポ2023の開催やフードテックを活用した商品開発・サービス実用化等を支援

# 7. 文化の力で世界に貢献する京都の実現

〔主要な方策〕文化庁の京都移転を機に、様々な文化芸術を京都中で体験できる取組を集中的に開催

◆ 「文化の都・京都」プロジェクト連携事業費 184百万円

▶ 文化庁京都移転を契機とした新たな文化施策の展開に向けて、  
京都中を文化で彩る取組を実施

○文化庁京都移転プラットフォームが主体となり、「文化の都・京都」を発信

〔主要な方策〕音楽家を夢見る人々が世界中から集まり、交流し、新しい音楽を創造・発信する音楽祭を開催

◆ 「文化の都・京都」推進検討費 2百万円

▶ 文化芸術活動への総合的な支援や国際音楽祭など、新たな文化施策を検討

○文化庁の京都移転を契機に将来に残る文化施策や文化芸術活動への総合的な支援策を検討

〔主要な方策〕丹後地域の歴史、文化、観光の拠点施設となる博物館をめざす府立丹後郷土資料館のリニューアル

◆ 丹後郷土資料館整備推進費 47百万円

▶ 丹後地域の歴史文化の探訪・観光の拠点施設となる博物館へのリニューアル

○ 現資料館(本館)の改修及び別館・収蔵庫新設の基本・実施設計

○ 多様な専門家や地元と連携し、機能面や運営面の強化に向けた検討

# 8. 交流と連携による活力ある京都の実現

〔主要な方策〕 市町村や企業との連携事業への学生等の参画を進めるとともに学生等の府内定着を促進する取組の実施

◆ 学生とともにのばす京都プロジェクト事業費 30百万円

## ▶ 大学、行政の連携により「大学・学生のまち京都」の魅力を充実強化

- 「京都府地域共創大学連携会議」において、大学・学生の力を活かした京都の未来の活力づくりや学生の府内定着に向けた方向性を協議
- 学生の活躍が期待される分野において、府と大学等の共同事業を実施

〔主要な方策〕 万博を契機とした活発な交流を生み出す取組の推進

◆ 大阪・関西万博きょうとの魅力発信事業費 26百万円

## ▶ 万博開催に向けた機運醸成・誘客促進

- 行政・経済団体・有識者等、オール京都の推進体制の構築
- 万博開催に向けた府域での機運醸成・誘客促進や京都ブースの展示設計を実施

〔主要な方策〕 地域運営の土台となる連携体制の形成による持続可能な農村コミュニティづくりの推進

◆ 京のむらづくり推進事業費 129百万円

## ▶ 中山間地域における地域活動の合理化による持続可能なまちづくり

- 地域共同活動の「選択と集中」による最適化を促進するための交付金を新設  
(例)住民合意に基づき農地の労働力や資本の投入をおさえる選択を支援